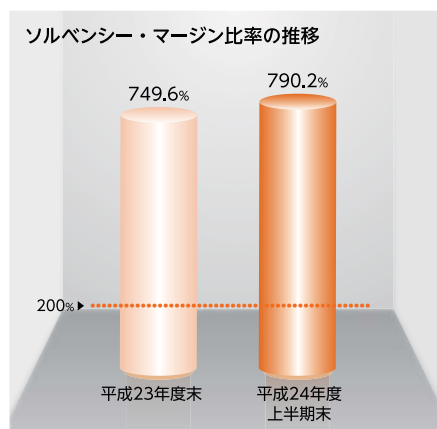


ソルベンシー・マージン比率 790.2%

予測を超えたりリスクにも対応できる支払余力を確保しています。

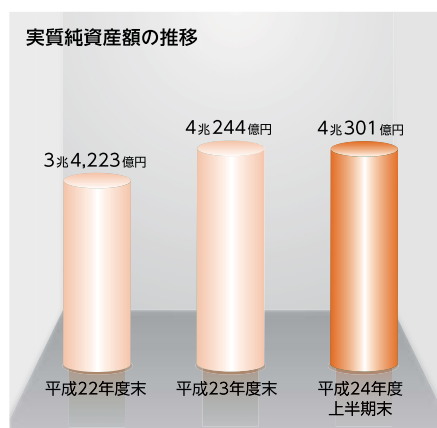
ソルベンシー・マージン比率とは、株価の暴落など通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための行政監督上の指標の一つです。この数値が200%を下回った場合は、監督当局による業務改善命令等の対象となります。平成24年度上半期末のソルベンシー・マージン比率は790.2%（前年度末差40.6ポイント増）となっています。



実質純資産額 4兆301億円

健全な経営を維持していくための純資産額を備えています。

実質純資産額とは、有価証券や不動産等を時価評価した資産から、ご契約にかかわる各種負債等を差し引いたものであり、保険会社の健全性の状況を示す行政監督上の指標の一つです。平成24年度上半期末の実質純資産額は4兆301億円で、一般勘定資産に対する比率は13.7%となっています。



含み損益(一般勘定資産全体) 1兆6,947億円

堅実な資産内容で1兆円を大幅に上回る含み益を確保しています。

含み損益とは、保有している資産の時価と帳簿価額との差額を指し、保険会社の企業体力を表わすものの一つです。平成24年度上半期末は、一般勘定資産全体で1兆6,947億円(前年度末差658億円減)の含み益を確保しています。

(平成24年度上半期末)

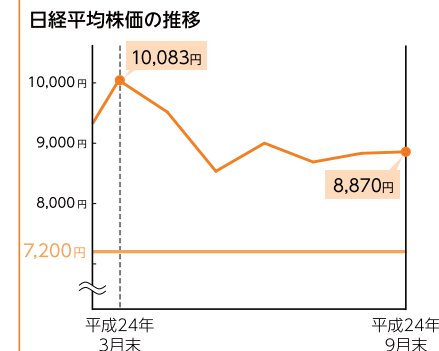
一般勘定資産全体の含み損益	1兆6,947億円
うち時価のある有価証券※1	1兆4,275億円
うち公社債	8,995億円
うち株式	4,150億円
うち外国証券	922億円
うち土地※2	2,792億円

※1 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。
 ※2 土地には借地権を含んでいます。

国内株式含み損益ゼロ水準 7,200円程度

平成24年度上半期末における当社が保有する株式の含み損益がゼロとなる水準は、日経平均株価で7,200円程度となっています。

*仮に当社ポートフォリオが日経平均株価にフル連動するとした場合



資産の構成

長期・安定的な収益を確保するため、一般勘定資産の構成、公社債や貸付金などを中心に運用しています。

運用にあたっては、公社債や貸付金といった安定収益資産を中心に配分を行ない、お客さまへのお支払いに備えています。引き続き、良好な運用成果の確保と資産健全性の維持・向上に努めていきます。

